

グラビア

工場内は常春 LED活用の植物工場

HRD iDEAL (鳥取市)

株式会社HRD iDEAL

〒689-1102 鳥取県鳥取市津ノ井 300-1
TEL 0857-51-7700 FAX 0857-51-7701
<http://www.harada-denki.jp/ideal/>

写真・文 / 小山博孝



自社工場の空きスペースを活用して、日産1千株の葉物野菜「ゆーまい菜」を中心に栽培している。赤色光の部屋は独特の雰囲気だ



原田宜明社長。「私たちのこの方式で、東北の震災地でもぜひ栽培してほしい。特に福島で新鮮なサラダを召し上がっていただきたいものです」



HRD本社。この工場の一角に植物工場がある

取材の日の鳥取市は、雪模様の寒い日だった。だが案内された工場内は室温20度。赤色光と白色光でまぶしいほど明るい。まさに1年中春の植物工場だ。

ここは鳥取市の発光ダイオード（LED）の製造開発メーカーである「HRD」が、障害者雇用を支援する目的で設立した子会社「HRD iDEAL」（エイチアールディアリアル）の工場。親会社のHRDの自社製のLEDの特性を活用して、大阪のメーカーと共同開発した野菜栽培システムで葉物野菜を栽培し、販売しているのだ。HRDの原田宜明社長は話す。

「先代社長の時代から、障害者雇用に力を入れてきました。1990（平成2）年には、障害者雇用の優良事業所として労働大臣表彰を受けたこともあります。障害のあるみなさんにはLEDや電子部品の組立て、検査などの手加工作業をしてもらっていました。」

弊社では企業内授産や実習を受け入れていましたが、地域の福祉関係者や特別支援学校から、「障害者の働く場が少ないので、働く場を立ち上げてほしい」との要望があり、3年前にこの子会社の立上げを決めました。安定した仕事として植物工場にしました。この工場をぜひとも成功させ、「リアル方式」として全国に広げて、障害者雇用の拡大につなげたい。」

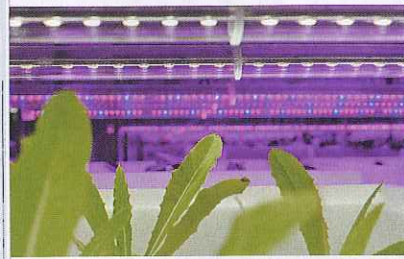
現在、障害者25人（おもに知的障害者、精神障害者など）、スタッフ10人が本社工場での野菜の栽培、電子部品組立て、清掃などの業務のほか、軽食喫茶「シンフォニー」での仕事に励んでいる。



育苗室で約15日間育てる



一粒ずつ丁寧に種をまく



LED光で育つ野菜



育苗室で育てられた苗を植え替える



特別に作られた土を準備する



植え替えられ、LED照明が配置された工場内の棚で20日間栽培され出荷される



植物栽培に、より効果の高いLED照明をめざして開発も進む



収穫された野菜は、葉などが破れていないかチェックする



「ゆーまい菜」は、種をまいてから平均35日で収穫できる



ていねいに袋詰めて出荷



LEDの組立て



植物栽培以外に、電子部品の組立てなどの仕事もある



鳥取市文化センター内にある
軽食喫茶シンフォニーの運営も担当



箱折り作業